平成23年度 施策評価

整理番号 21

内部評価結果

施策名	歴史文化遺産の保全と活用
-----	--------------

所管部局	所管部局長の氏名
教育委員会事務局	吉岡 喜代和

1. 総合計画(後期基本計画)

基本方針	(政策)	生涯学習都市	計画項目	(施策)	歴史文化遺産の保全と活用
施策目的	(何を対象に、どのような状態にしたいのか)	既存の3つの資料館の特長を生かしたネットワークを構築するとともに、丹後王国の歴史文化の保存、発信に努め、市内外の人々が京丹後市に親しみ、研究を深めることができるよう情報発信基地としての資料館の整備充実を図る。また、多数の文化財、民俗資料等の収集整理、保存を図るとともに、丹後の歴史・文化財の研究などを通じ、市民が本市の歴史や文化に親しみ、地域に誇りを持ち、郷土愛を育むことができる環境づくりを進め、歴史文化を活かしたまちづくりを目指す。			

2. めざす目標

めざす目標	指標名	総合計画策定時 (H17)		後期基本計画策定時 (H20)		平成22年度実績値 (現状)		目標 (H26)	
		年度	数値	年度	数値	年度	数値	年度	数値
'丹後王国'の情報発信の力を高めます	文化財博士登録制度の登録者数		0人	H16	34人	H20	34人	H22	100人
	京丹後市史の刊行	新規		-	0巻	H20	3巻	H22	14巻

3. 評価結果一覧

施策方針	事務事業	事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		評価結果									
				H22決算額	H23予算額(一般財源)	事務事業評価							施策評価		
						根拠法令	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性数値	必要性説明	今後の方向性	施策貢献度	今後の方向性
歴史資料館のネットワーク	1 郷土資料館管理運営事業	文化財保護課		2,264	2,392(2,357)	市規定	単費	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	現状維持	B	拡大
	2 古代の里資料館管理運営事業	文化財保護課		8,789	9,023(8,181)	市規定	単費	維持管理	市民	直・委	3	個性魅力	現状維持	B	拡大
文化財の保存と活用	1 文化財関係団体補助金(文化財保護一般経費)	文化財保護課		50	50(50)	なし	単費	サービス	団体	補	3	個性魅力	現状維持	B	現状維持
	2 指定管理施設運営事業	文化財保護課		7,420	7,818(7,818)	市規定	単費	サービス	市民	委・指	3	個性魅力	現状維持	B	現状維持
	3 文化財保護審議会委員設置事業	文化財保護課		381	477(477)	市規定	単費	内部管理	-	-	-	-	-	B	現状維持
	4 文化財保護啓発事業	文化財保護課		794	1,813(1,003)	市規定	単費	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	現状維持	A	拡大
	5 稲葉家資料展示活用事業	文化財保護課		1	-	市規定	単費	サービス	市民	直	3	個性魅力	統合(整理)	C	統合(整理)
	6 市指定文化財等補助金	文化財保護課		2,500	2,000(2,000)	市規定	単費	維持管理	団体	補	3	個性魅力	現状維持	B	現状維持
	7 史跡等維持管理事業	文化財保護課		2,340	1,493(1,493)	義務	単費	-	-	-	-	-	-	B	現状維持
	8 文化財整理事業	文化財保護課		574	754(754)	市規定	単費	内部管理	-	-	-	-	-	C	現状維持
	9 遺跡整備事業	文化財保護課		3,358	329(329)	国規定	単費	施設整備	市民	直・委	3	個性魅力	拡大	A	拡大
	10 遺跡発掘調査等事業	文化財保護課		2,096	2,241(741)	国規定	国・一部	サービス	他	直・委	1	該当なし	現状維持	A	現状維持
4 市史編さんの取り組み	1 市史編さん事業	文化財保護課		7,468	14,053(14,053)	市規定	単費	サービス	市民	直・委	3	個性魅力	現状維持	A	現状維持
計				38,035	42,443(39,256)										

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	01郷土資料館管理運営事業
細事業名	01 郷土資料館管理運営事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
2,264千円	2,307千円	43千円	98.1%	

目的 京丹後市内でかつて使用された生活用具（民俗資料）を収集・調査・保管し、広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財の普及啓発を図るため郷土資料館の維持管理を行う。

主要な業務・事業及び成果の概要 市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈を受けた民俗資料を適切に保管・公開し、文化財の普及啓発を図る郷土資料館の維持管理運営を行った。

平成22年度入館者数 556人（平成21年度入館者数 985人）

人件費
・臨時職員賃金、共済費 1,577千円
臨時職員3人分の賃金と労災保険料

維持管理経費
・消耗品費 99千円
・光熱水費、燃料費 126千円
・電話料 42千円
・火災保険料 54千円
・機械警備委託料（長期継続契約） 214千円
・コピー機借上料（長期継続契約） 101千円
・清掃用具借上料 11千円
・テレビ受信料 15千円

体験用経費
・原材料費（勾玉作り材料） 25千円

主な財源 使用料 郷土資料館入館料 34千円

評価・課題等
・平成22年度年間入館者数は、平成21年度に比べ減少したが、小学生の授業での見学があり、地域学習のニーズは高い。
・昭和21年建築の旧木津小学校校舎を利用した建物は、建築から60年以上が経過し、施設の老朽化が進んでおり、施設の抜本的なリニューアルが検討課題である。

事業所管課 教育委員会事務局 / 文化財保護課

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	02古代の里資料館管理運営事業
細事業名	01 古代の里資料館管理運営事業			決算書 P.348
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
8,789千円	9,111千円	322千円	96.4%	

目的 京丹後市に数多く残されている考古資料や美術工芸品を収集・保管・調査し、広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財の普及啓発を図るため丹後古代の里資料館の維持管理を行う。

主要な業務・事業及び成果の概要 市民及び市外からの来訪者のために、豊富に残る市所蔵や寄贈・寄託を受けた考古資料・美術工芸品を適切に保管・公開し、文化財の普及啓発を図る丹後古代の里資料館の維持管理運営を行った。

平成22年度入館者数 3,939人（平成21年度入館者数 4,045人）

人件費
・資料館長報酬、費用弁償 2,092千円
資料館長報酬 166,500円 × 12か月 = 1,998千円
・臨時職員賃金、共済費 3,465千円
臨時職員3人分の賃金と社会保険料等事業主負担分

維持管理経費
・光熱水費、燃料費 1,584千円
・消耗品等 290千円
・通信運搬費等役務費 161千円
・機械警備委託料 189千円
・浄化槽維持管理委託料 299千円
・土地借上料（2,915㎡） 121千円
・その他管理経費（清掃用具借上、コピーリース、小修繕等） 460千円

体験用経費
・原材料費（勾玉作り材料及び陶芸体験用材料） 67千円
・陶器窯焼委託料 61千円

主な財源 使用料 古代の里資料館入館料 596千円
使用料 公有財産使用料 113千円
諸収入 古代の里資料館陶芸教室実習料 141千円
諸収入 古代の里資料館書籍販売代金 176千円
諸収入 古代の里資料館物品販売代金 4千円

評価・課題等
・平成22年度年間入館者数は、平成21年度に比べ微減したが、小学生の歴史や総合学習の授業での見学もあり、地域学習のニーズは高い。
・平成6年度のオープンより16年が経過し、施設の老朽化が目立つ。今後、修繕が必要となってくる箇所が増加するものと思われる。

事業所管課 教育委員会事務局 / 文化財保護課

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	50文化財保護一般経費
細事業名	01 文化財関係団体補助金（文化財保護一般経費）			決算書
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額（-）	執行率	
50千円	50千円	0千円	100.0%	
目的	文化財の保護活用を推進するため、文化財保護関係団体の活動を支援するため、補助金を交付する。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	<p>市内に数多く残る郷土芸能を推進する活動を通じて、郷土芸能を民俗文化財として後世に継承してゆくため、また活動を通じて地域コミュニティ形成に寄与することを目的にする、峰山伝統芸能振興会に対し、積極的な事業の推進を奨励するために補助金を交付した。</p> <p>文化財関係団体補助金 50千円 交付団体：峰山伝統芸能振興会 [峰山伝統芸能振興会の会員数] ・個人会員 119人・団体</p> <p>[活動内容] 峰山金刀比羅神社大祭 平成22年10月9日・10日 峰山金刀比羅神社大祭に際し奉納巡行を行なう団体の調整・支援を行なった。 10日には御旅市場前に集合し、聴衆に芸能を披露し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金刀比羅神社神輿 ・金刀比羅山屋台 ・釜堀山屋台 ・杉若太鼓 ・杉若神楽 ・子ども踊り ・峰山よさこい踊り <p>地元住民等参加者 約300人 入込客 約9,000人</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事はその地域しかないものであり、地域のアイデンティティ形成にも寄与する。文化財としても価値の高いものであり、将来にわたって継続して実施することが必要なものである。 ・しかし、現行では一部の地域を対象とした補助金となっているため、一定の整理、検討が必要である。 			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	04資料館費	03資料館等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.350
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額（-）	執行率	
7,420千円	7,420千円	0千円	100.0%	
目的	琴引浜鳴き砂文化館は、琴引浜の美しい自然と鳴き砂を広く普及啓発するための施設であり、併せて山陰海岸ジオパークの拠点施設としても位置づけられており、適正な管理運営を行う。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	<p>琴引浜鳴き砂文化館は、鳴き砂の学習施設や環境学習の施設として、環境保全について学べる施設として指定管理制度を導入し、掛津区が管理運営にあっている。市のジオパーク構想の拠点施設として、ジオパークの展示も行った。教育施設の性格に京丹後市の観光拠点としての機能も求められつつある。平成22年度は琴引浜のガイドブックを作成して琴引浜の普及啓発を図った。</p> <p>印刷製本費 琴引浜ガイドブック印刷費（3,000部） 261千円</p> <p>委託料 指定管理者の管理運営に伴う管理委託料 5,959千円 （運営に必要な人件費、施設の維持管理経費）</p> <p>使用料及び賃借料 1,200千円 建物の所有者である財団法人日本ナショナルトラストへの建物賃借料 （平成14年10月～平成23年3月まで毎年1,200千円）</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の入館者数は約12,000人で、前年に比べ若干減少となった。各種の展示事業にも取り組み積極的な管理運営に努めた。各種視察受け入れやジオパーク構想・ガイド事業への支援・協力など行政サイドと連携し、京丹後市の代表的な施設としての役割を果たした。 ・山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークへ加盟認定されたのを契機に教育施設の性格に観光拠点としての機能も求められている。 			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	01文化財保護審議会委員設置事業
細事業名	01 文化財保護審議会委員設置事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
381千円	440千円	59千円	86.5%	
目的	文化財保護審議会は本市の文化財の指定・解除等を諮問する附属機関であり、文化財の保全及びその活用について調査し、審議を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>文化財保護審議会の開催経費 204千円</p> <p>市文化財の指定・管理等に関する事項や文化財関係事業、文化財保護普及啓発等を検討するため審議会を開催。さらに両丹文化財保護連絡協議会において審議検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬 (半日) 4千円×4回 170千円 (1日) 7千円×1回 ・費用弁償 34千円 <p>文化財保護審議会委員視察研修費 177千円</p> <p>文化財保護審議会の活動に必要な知識等を深め、委員の資質向上と京丹後市の文化財行政に活かすため視察研修を行った。</p> <p>11月1日～2日(鳥取県立博物館、青谷海岸、猿尾滝など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費(10人) 135千円 ・その他経費 42千円 <p>(燃料費、バス運転委託料)</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度は4回の審議会の開催と、両丹文化財保護連絡協議会での審議検討を行った。審議会では文化財関係事業や文化財保護普及啓発などのほか新市指定文化財について検討した。 ・委員視察研修を1回実施し、委員の資質向上と文化財行政への活用を検討した。 ・多数の文化財について、限られた回数の審議会でいかに効率よく審議するかが課題である。 			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	02文化財保護啓発事業
細事業名	01 文化財保護啓発事業			決算書 P.354
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
794千円	852千円	58千円	93.1%	
目的	京丹後市に数多く残されている文化財や、その調査成果などを広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財保護の重要性を知ってもらい文化財の普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、市内各地に残る指定文化財などの貴重な文化財を観覧する展示会を開催し、展示会とリンクする形で「京丹後市史」をはじめとする文化財の調査成果を広く周知するための講座を開催した。あわせて啓発用の小冊子やパンフレットを作成した。</p> <p>講座(文化財セミナー 2回)</p> <p>講師謝金・旅費(3人) 61千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「永浜宇平を語る」 平成22年9月26日(日) 参加者 81人 ・第2回「峯山藩と近世丹後のすがた」 平成22年10月23日(土) 参加者100人 <p>展覧会</p> <p>消耗品、調査旅費等 124千円</p> <p>チラシ印刷費 187千円</p> <p>「峯山藩主京極氏と峯山藩の世界」美術運送料 261千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第39回丹後震災記念展 平成23年3月5～7日 ・丹後古代の里資料館夏期特別展示「永浜宇平の生涯1」 平成22年7月14日～10月17日 ・丹後古代の里資料館秋期特別展示・市史資料編「峯山藩関係史料集」刊行記念「峯山藩主京極氏と峯山藩の世界」 平成22年10月21日～11月28日 ・丹後古代の里資料館コーナー展示3回開催 <p>(「古墳時代の京丹後市3」「飛鳥・奈良時代の京丹後市」「古代人とジオ」)</p> <p>啓発冊子・パンフレット印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山遺跡第1、2次発掘調査報告書 47千円 ・郷村断層パンフレット・「永浜宇平の生涯1」小冊子 114千円 			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料館での企画展示や文化財セミナー、文化財啓発冊子・パンフレットの作成を行った。「京丹後市史」の調査により明らかになった内容や成果を市民へ還元する機会として重要なものであり、今後も継続して実施する必要がある。文化財保護普及啓発事業は、価値の高い京丹後市の文化財を市民や市外からの観光客等に理解してもらつ意味で効果があった。 ・広報に努め、展示会やセミナーなどにおいて多くの人に参加してもらつことが課題である。 			
事業所管課	教育委員会事務局/文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	08稲葉家資料展示活用事業
細事業名	01 稲葉家資料展示活用事業			決算書 P.358
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
1千円	2千円	1千円	50.0%	
目的	久美浜の稲葉家に数多く残された文化財を広く市民や市外からの来訪者へ公開し、文化財保護の重要性の普及啓発を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市民及び市外からの来訪者のために、稲葉家に残された古文書・生活道具などを適切に保管・公開し、文化財保護の普及啓発を図った。</p> <p>消耗品費 1千円</p> <p>展示内容（内蔵展示など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪商稲葉本家コーナー展示「結城素明と稲葉家」 平成22年4～8月 ・豪商稲葉本家コーナー展示「稲葉東・喬」 平成22年9月～平成23年3月 ・お雛さまの公開 平成23年2～3月 <p>資料調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲葉家資料調査 平成23年2月14～16日 <p>平成22年11月に稲葉家より追加で寄贈を受けた資料群のうち、文書について大阪大学飯塚准教授の協力により文書目録作成調査を行った。</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・稲葉家資料展示活用事業については、5年間の資料調査事業終了後、展示活用事業を実施してきた。また、展示蔵の一部改修など資料の収蔵環境も整備した。平成22年度については活用計画を見直して企画展示等を開催した。文化財保護啓発事業全体の中のひとつとして展示活用事業の展開を行うため、平成23年度は同事業へ統合（整理）して事業を実施する。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	01 市指定文化財等補助金			決算書 P.356
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
2,500千円	2,500千円	0千円	100.0%	
目的	京丹後市内にある貴重な文化財を次世代に引き継ぐために、京丹後市指定文化財等補助金交付要綱に基づき、文化財の修理保全事業に対して補助金を交付する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市指定文化財等補助金 18件 2,500千円</p> <p>内訳・社寺等文化資料保全補助金該当分 15件</p> <p>・国、府指定補助金該当分 3件</p> <p>事業対象は神社、寺院の建造物修理、郷土芸能の衣装道具の新調、経典の修理、仏像の保管庫の改修などで、事業総額は18,089千円であった。</p> <p>参考</p> <p>平成21年度事業実績</p> <p>補助件数 14件</p> <p>補助金額 2,181千円</p> <p>事業総額 17,321千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財所有者等の負担軽減のために必要な補助金である。 ・平成22年度の補助金交付件数は前年度より4件増加し、貴重な文化財の保全が図られた。 ・補助金の限度額が低く、建物の大規模な改修などにおいては、管理者の負担が高額になるなどの課題がある。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	03指定文化財等管理事業
細事業名	02 史跡等維持管理事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
2,340千円	2,394千円	54千円	97.7 %	
目的	約170件を数える京丹後市にある国指定・府指定・市指定文化財について、文化財の保全や啓発を行うため、指定文化財の補修や草刈等の維持管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>史跡等草刈委託・文化財施設環境美化委託料 1,446千円 史跡等用地の草刈、清掃により文化財見学の利用供与や、保安全管理が保たれた。 網野銚子山古墳、神明山古墳、函石浜遺跡、赤坂今井墳墓、産土山古墳 竹野神社など16か所</p> <p>文化財看板の保全 大成古墳群説明看板撤去 10千円</p> <p>指定文化財関連施設管理経費 881千円 浜詰遺跡屋根改修工事（市指定文化財）等 840千円 郷村断層等の指定文化財施設の維持経費 10千円 火災保険料（旧口大野村役場、郷村断層施設、浜詰遺跡施設） 31千円</p> <p>土地借上料 文化財看板設置場所年間借上料（3か所、4㎡） 3千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡等の維持管理、指定文化財の補修により、文化財の保全を図ると共に、草刈等による文化財見学の利用を促進し、文化財の活用を図る。 ・文化財案内板、説明板の設置や更新等が必要な箇所が多数存在する。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	05文化財整理事業
細事業名	01 文化財整理事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
574千円	583千円	9千円	98.4 %	
目的	京丹後市に数多く残されている写真資料について、所在確認とデジタル化を行い、今後の活用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成20年度より、京丹後市が保管している旧町毎の膨大な写真を調査確認し、重要な写真をスキャニングし、デジタルデータ化を行っている。平成22年度も継続して実施し、本年度は7,596点をデジタル化できた。</p> <p>臨時職員賃金（1人分） 478千円 （期間：平成22年5月10日～12月27日） 消耗品費 95千円 手数料 1千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度中に寄贈を受けた写真資料（古写真では稲葉家旧蔵写真、現代では藤本芳郎氏写真）が新たに増加した。今後、写真がデジタル化できれば、文化財啓発活動にも有効に活用できる。 ・発掘調査の調査資料は、スライドも多くあり資料の劣化などの心配があり、この資料もデジタル化することが必要である。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	06遺跡整備事業
細事業名	01 遺跡整備事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
3,358千円		3,362千円	4千円	99.8%
目的	丹後の特色と歴史を物語る重要な文化財を、教育・観光・地域づくりの資源などへ有効に活用するため環境整備を推進する。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	平成22年度は、日本海沿岸最大級の大型前方後円墳である網野銚子山古墳について、平成19～21年度に実施した周辺確認調査の成果に基づき、整備に向け史跡の追加指定が必要と見込まれる範囲の周辺用地測量を実施した。 併せて、古墳周辺部の土地14,772.23㎡について、文化庁へ史跡の追加指定の申請を行った。			
	事業経費			
・旅費	史跡の追加指定協議に伴う旅費	83千円		
・需用費	協議用図面・写真複写代等	9千円		
・委託費	用地測量委託費	3,266千円		
主な財源	府補	未来づくり交付金（網野銚子山古墳整備事業）	1,000千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 市内の文化財には活用に供するよう環境整備が行われているものは少なく、整備を実施することで、特色あるまちづくりのための活用に資することができる。 網野銚子山古墳については、用地測量を実施し、追加指定の手続きを終了した。 今後は整備基本計画の策定、環境整備事業実施へと取り組みを進めることが課題である。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	07遺跡発掘調査等事業
細事業名	01 遺跡発掘調査等事業			決算書 P.358
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額		最終予算額	不用額 (-)	執行率
2,096千円		2,168千円	72千円	96.6%
目的	市内の遺跡を効果的に保護するための資料を得るため、また、開発等により現地保存の困難な遺跡の記録保存を図り文化財の保護活用につなげるため、発掘調査等を実施する。			
主要な 事業 及び 成果 の 概要	平成22年度は大宮町森本地区で計画されている府営農業基盤整備関連事業の計画地内に存在する松山遺跡について、本調査を実施し、成果をまとめた報告書を刊行した。 調査地において平安～鎌倉時代の柱穴群・落込み遺構及び包含層と、古墳時代～飛鳥時代の竪穴建物群・柱穴及び包含層で形成される、概ね2時期の遺構が検出された。 また、旧丹後国で16例目となる須恵器円面硯が出土し、当遺跡が竹野川左岸の段丘上に展開した有力集落のひとつであることが明らかになった。			
	<ul style="list-style-type: none"> 調査期間：現地調査7月20日～9月3日、整理作業9月6日～11月5日 関係者説明会開催 8月31日（出席者18人） 			
発掘調査経費				
・共済費	発掘調査補助員に関する労災保険料	2千円		
・賃金	発掘調査補助員賃金（2人）	534千円		
・旅費	調査協議に伴う旅費	9千円		
・需用費	消耗品費、記録写真現像代、 報告書印刷代（300部）	254千円		
・役務費	簡易トイレ汲取料	2千円		
・委託料	作業員、整理員人材派遣委託料	1,174千円		
・使用料及び賃借料	重機、簡易トイレ借上	121千円		
主な財源	国補	国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2）	1,000千円	
府補	埋蔵文化財緊急発掘調査費補助金（1/4）	500千円		
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 開発等に伴い遺跡の確認と保存、将来整備の方策を決定するために必要な事業であり、国の補助事業により調査を実施した。 今後も継続して遺跡発掘調査を実施することが必要である。 			
事業所管課	教育委員会事務局 / 文化財保護課			

予算科目	10教育費	05社会教育費	06文化財保護費	04市史編さん事業
細事業名	01 市史編さん事業			決算書 P.356
総合計画	基本方針	生涯学習都市	計画項目	歴史文化遺産の保全と活用
決算額	最終予算額	不用額 (-)	執行率	
7,468千円	8,337千円	869千円	89.5 %	
目的	京丹後市の歴史や自然環境の特徴を多くの市民に知ってもらうため、京丹後市史を刊行する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	本文編と資料編の刊行のため各種調査を実施した。平成22年度は資料編『丹後震災救護史料集』を刊行した。また、調査結果を文化財セミナー等で報告するなど、啓発事業の一翼も担っている。			
	編さん委員報酬	849千円		
	編さん委員調査報酬(延べ55人)			
	市史編さん専門委員報酬(編さん業務補助のため1人週4日勤務)	1,854千円		
	報酬 9千円/日×1人×206日			
	共済費 専門委員社会保険料	239千円		
	各専門部の調査(8専門部 部員20人)	1,093千円		
	調査員謝金 7千円/日×127.5日=893千円			
	復原画作成謝礼 200千円			
	費用弁償 調査員旅費	1,048千円		
京丹後市史資料編『丹後震災救護史料集』の刊行	992千円			
600部作成。京丹後市史の3冊目の刊行物であり、平成23年4月18日より各市民局・地域公民館・文化財保護課にて1冊1,600円で販売を開始している。また、調査協力者・関係機関・図書館等にも配付した。				
使用料及び賃借料 調査員宿泊費	599千円			
岩石化学分析委託料	398千円			
その他事務経費(職員旅費、消耗品等)	396千円			
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	7,687千円		
	実質的な予算執行率	97.1%		
平成23年度への繰越事業	650千円			
丹後町内社寺建築調査委託事業	完了日 平成23年5月16日			
主な財源	諸収入 文化財関係書籍販売代金	939千円		
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 『丹後震災救護史料集』の刊行については、東日本大震災の影響もあり新聞・テレビで大きく報道され多方面より問い合わせがあった。特に京丹後市出身の市外在住者からの購入の申し込みが多数あった。 京丹後市民に向けては市広報などにより周知をしているが、市外への広報についても市HP等を活用し、より積極的に行う必要がある。 			
事業所管課	教育委員会/文化財保護課			